

# 動物遺伝育種学研究室

揖斐隆之准教授

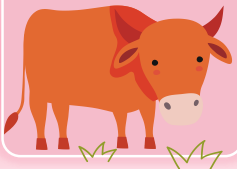
## 動物育種学研究室とは

動物遺伝育種学の特徴は、環境効果などによって判別が困難な遺伝現象を統計分析や分子遺伝学的手法を用いて把握するという点です。これにより、集団の遺伝的構成や個体の遺伝的特性を正確に推定することが可能となり、効率的な育種改良を行うことが出来ます。

動物資源を人類の健康と豊かな生活にやくだてるために、動物の効率的生産の医療支援への活用、そして動物機能の高度利用を幅広く追及します。

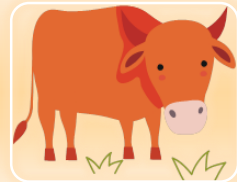
## 主な研究内容

### 子牛の強化性に関する遺伝の研究



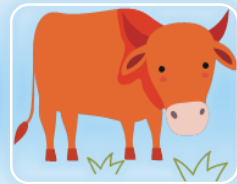
- 子牛の死は農家にとって大変な損失ですが、生か死かという閾値形質は、体重などの量的性質と異なり、分析が遅れてしまいました。コンピューター技術の発展により、閾値形質についても分析が可能となったので、この遺伝的特性について研究を行います。

### 繁殖性に関する遺伝の研究



- 黒毛和種は肉質に関して大きく品種改良が進められ、成果を上げていますが、その半面で繁殖性が低下していると懸念されています。4歳時子牛生産指数などを用いて、繁殖性に関する遺伝的特質について解明を行います。

### 遺伝的多様性の維持に関する研究



- 黒毛和種において能力の優れた雄牛に人気が集中することによる遺伝的多様性の低下が懸念されています。遺伝的多様性の低下は繁殖性の低下や奇形などを引き起こすことが知られています。遺伝子マーカーを遺伝的多様性の指標として用いた、遺伝的多様性を用いた育種計画の研究を行います。



